

第1回養老町立小学校再編準備専門部会全体会（教育部会）協議事項報告

次第6 各部会での意見交換（各部会の検討項目と検討スケジュールの確認）

【進行：若山 義郎 部会長】

◆教育部会において検討すべき項目について

- ・「再編の目的と教育的意義」については、すでに「学校のあり方検討委員会」にて明らかになっているため、あらためて協議する必要はないとの意見であった。
- ・教育目標や学校像といったものは、校長が決めるものである。
- ・それぞれの学校で大切にしているもの、伝統などを洗い出してはどうか。
(例えば、養老小ならオペレッタ、養北小ならソーラン、日吉小なら和太鼓や文楽など)
- ・各学校それぞれに地域との関わり方にも違いがあり、運動会ひとつを挙げて整理が必要ではないか。
(→総務部会とも連携して協議が必要ではないか)
- ・PTA 会費の集め方にも各学校さまざま、地域からの賛助金等がある学校もある。
(→PTA部会とも連携して協議が必要ではないか)
- ・ふるさと学習についても学校により特色があることから、今後の方向性をどうしていくのか
- ・交流事業をどうしていくのか。
- ・新しい学校の校長が決める、目指す学校像、教育目標などのたたき台となるものを協議していくことになった。

○新たに検討することが望ましい項目について

- ・(伝統も大切にしながら)新しい学校ができることから、新しい校風・風土についても考えてはどうか。(夢・未来に向けて・期待感など)

◆次回の開催について

- ・日 時 令和8年4月下旬 午後4時頃
- ・場 所 役場会議室
- ・協議事項 ①学校の特色について
②学校像、教育目標について ※資料を持ち寄る